

平成 2 1 年 5 月

[配布先：全組合員]

市場情報

1. 市場委員長挨拶

追加補正予算の効果に期待

酒 匂 雅 信

桜も散って日毎に暑くなってまいりましたが、市場は冷えきったままです。在庫は減らず、出荷は増えず、逆に減る顧客も多くなった。乗用車 50%、トラック 60%、ダンプ 80%、建設機械 80%、鍛圧機械の内特に自動車向プレス 98%、工作機械 85%と前年比での減産は1月、2月、3月と月を追う程に悪くなっている。製造業の減産も厳しいが、建設業もデベロッパーの倒産旋風が止まらず、ゼネコンの不良債権も増加の一途、大型都市開発も中止、延期が枚挙の暇がない。こう書くと夢も希望もないようだが、在庫調整も夏には終る予定で自動車は10%の増産と早くも底が見えはじめ、電炉品も、スクラップの底値感から条鋼類にメーカー出値の下げ止まり気配。しかしわが組合の厚中板は高炉の価格の底値感がなく、海外価格、電炉厚板との価格差が大きく、紐付もユーザとの交渉がいつまで続くのかわかりません。今年は世界的にも風力発電、太陽光発電、ハイブリッド車、電気自動車等、環境重視、省エネルギー製品に注視と言われ、国の追加補正予算もその方面に重点的に流れると思います。又今年より久々に原発の新設が

10基以上日本でも始まります。橋梁も今年はまだ元気です。補修工事も秋から集中的に行なわれる予定です。

春ですから外に出ると新しい芽が出ているのに気づきますよ。

今年は「気合い」でがんばりましょう。

今期もシャリング組合は会員皆様に適切な情報をお伝えして、全員で100年に一度の不況を乗り切るよう努力いたします。皆様より貴重な御意見、情報を御寄せ下さい。

(京浜産業社長)

2. <各地区市場動向>

北海道

橋梁など公共投資への期待大

桜前線は、平年より一週間から十日早く稚内・根室に到達しましたが、リウ冷えが続き朝晩は未だストーブのお世話になっています。

北海道景気も益々悪化、企業収益や雇用情勢(有効求人倍率0.35)については一層の厳しさをましてきました。シャリング業界の稼働は、昨年からの大型プロジェクト向けの切板加工で何とか凌いでいますが、新規物件は少なく、本来最盛期となるこれからの時期に工場稼働の低下が予想され、又、全体的な物件数の減によるGCの競争激化による鉄骨価格の低下により、切板価格の指値も厳しくなり苦戦している。

今後、景気対策としての公共投資は、前年度を大幅に上回る見込みであり、橋梁・耐震補強案件の早期発注が望まれる。

(玉造・西村卓也)

東 北

トンネルは必ず抜ける

仙台地方は桜の満開の時は過ぎ、気候も三寒四温でしょうか暖かい日があれば寒い日もある不規則な天気です。

東北地区の状況ですが まったく先行きが見えてきておりません。ファブの仕事量はS、Hグレードでは関東物件中心での契約残物件で6月頃までその後の物件の受注が出来ていない様ですし、東北地場物件中心のMグレード以下では更に深刻さが増している様です。

当然ながら客先に仕事が無ければ我々のシャヤー業界もジリ貧の状況に陥ります。

今後は仕事の少ない中、如何に費用を縮小し赤字幅を少しでも少なくするかが課題になってきます。少ない需要を前提に如何に身軽にするか、正念場を迎える時期です。

先の見えないトンネルですが、トンネルは必ず抜けるものです。それまでは踏ん張って行くしかありません。

(J F E 鋼材・庄子悟)

東 京

橋梁は西高東低

関東の建材シャヤー5社の受注減が顕在化してきている。09年1～3月の実績は前年同期比で橋梁100.6%、鉄骨同100.6%、その他同70.5%、合計で同95.2%。橋梁、鉄骨とも前年からの繰越し残があり、前月同月並の実績があったが、その他の切板で大きく減少した。

4月～6月は橋梁、鉄骨の受注残も底をつき、減少の一途を辿りそうだ。橋梁の入札状況をみると、西高東低で、関西地区は高いが関東地区は極めて

低い。鉄骨も企業の投資抑制でオフィスビルや工場などの着工遅れや延期が相次いでいるようで、新しい物件が決まってこない。

客先の手持ちも薄くなってきている。秋以降の物件は見えているようだが、価格面で着工見合わせもあるとのこと。先行き極めて不透明である。

(富士鉄鋼センター・水城正博)

東 海

在庫増、仕事量の激減をどう乗り切るか

昨年のトヨタショック以降、受注が急激し、月を追うごとにさらに減ってきており、現状、前年比6~7割減で推移しています。100年に1度といわれる大不況に、対処するすべもなく流されています。先の見通しも全くわからず、急激な受注減で材料の契約分の調整が間に合わず在庫が積み上り、今の受注量で適正、正常在庫にどれだけの時間がかかるか見当もつきません。今は大手企業の在庫調整が早く終わり、景気が回復して我々業界に仕事が回ってくることを期待するのみです。

(信正鋼材・牧野 博)

市場委員会の次回開催予定

第141回市場委員会

6月12日(金)正午~

於 東京・鉄鋼会館